



弾道ミサイル落下時の行動について

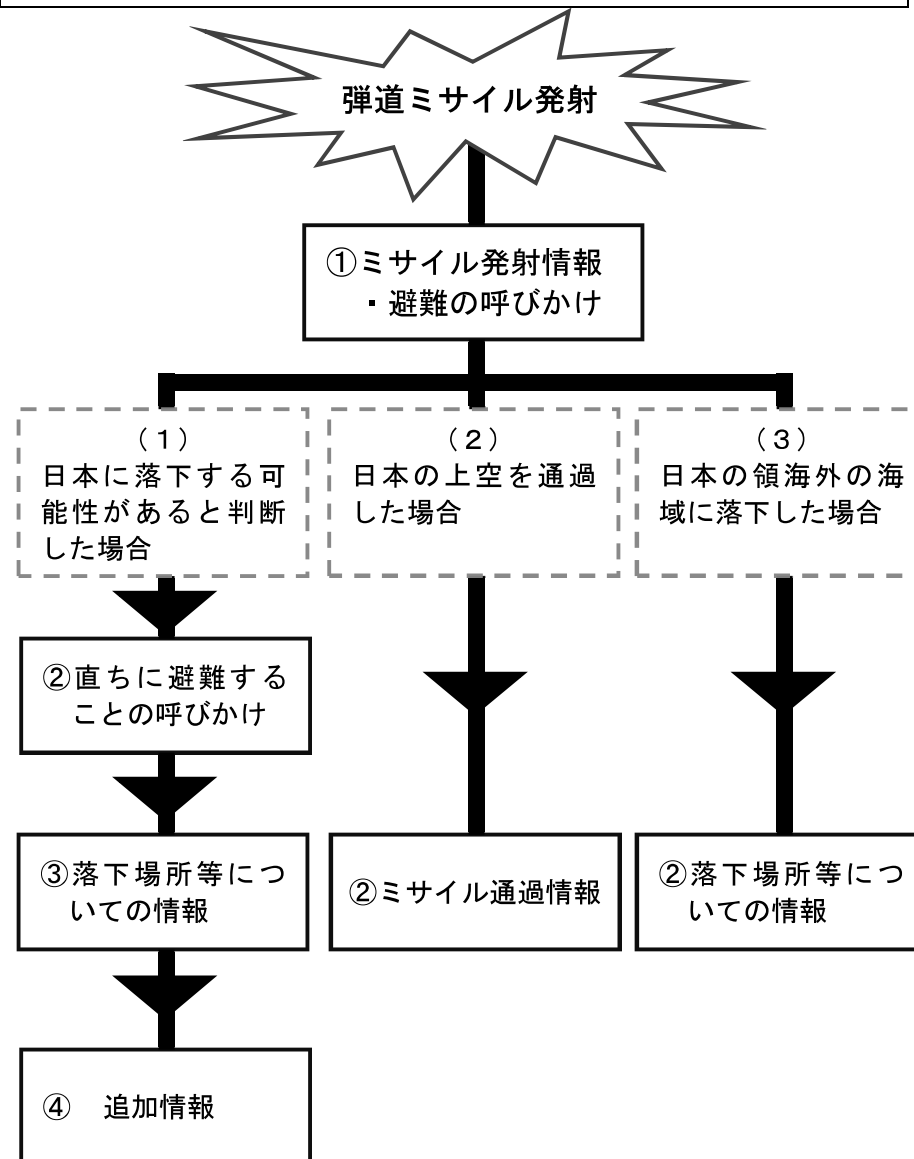
弾道ミサイルが発射され、日本に落下する可能性がある場合、緊急速報メールやテレビ、ラジオなどを通じて緊急情報が流れます。緊急情報が流れたら、**速やかな避難行動・正確かつ迅速な情報収集**をお願いします。

【避難行動】

	発射情報が流れたら	近くに落下したら
屋外にいる場合	できる限り頑丈な建物や地下に避難する	口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。
建物がない場合	物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る	
屋内にいる場合	窓から離れるか、窓のない部屋に移動する	換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

※詳しくは、国民保護ポータルサイト (<http://www.kokuminhogo.go.jp/>) をご覧ください。

弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合における全国瞬時警報システム（Jアラート）による情報伝達について



弾道ミサイル落下時の行動に関するQ & A

Q 1. 弾道ミサイルが発射されてもJアラートが鳴らないことがあるのはなぜでしょうか。

A 1.

全国瞬時警報システム（Jアラート）は、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性又は領土・領海を通過する可能性がある場合に使用します。

逆に、日本の領土・領海に落下する可能性又は領土・領海を通過する可能性がないと判断した場合は、Jアラートは使用しません。

なお、日本の排他的経済水域（EEZ）内にミサイルが落下する可能性がある場合は、Jアラートは使用しませんが、船舶、航空機に対して迅速に警報を発します。

Q 2. ミサイルは発射から何分位で日本に飛んでくるのでしょうか。

A 2.

北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、日本に飛来する場合、極めて短時間で日本に飛来することが予想されます。

例えば、平成28年2月7日に北朝鮮西岸の東倉里（トンチャンリ）付近から発射された弾道ミサイルは、約10分後に、発射場所から約1,600km離れた沖縄県先島諸島上空を通過しています。

なお、弾道ミサイルの種類や発射の方法、発射場所などにより日本へ飛来するまでの時間は異なります。

Q 3. なぜ頑丈な建物や地下へ避難するのですか。

A 3.

ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるためには屋内（できれば頑丈な建物）や地下（地下街、地下駅舎などの地下施設）への避難が有効だからです。

Q 4. 弾道ミサイルの情報が伝達されたとき、自動車の車内にいる場合はどうすればよいですか。

A 4.

車は燃料のガソリンなどに引火するおそれがあります。

車を止めて頑丈な建物や地下（地下街、地下駅舎などの地下施設）に避難してください。周囲に避難できる頑丈な建物や地下施設がない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守ってください。

Q 5. 所有している携帯電話・スマートフォンが、Jアラート作動時にエリアメール・緊急速報メールを受信するか知りたいのですが。

A 5.

消防庁において、受信可能な機種かどうかの確認方法と、受信できない場合等の対策をまとめて、ホームページに公表しています。こちらをご覧ください。

（参考：「スマートフォンアプリ等による国民保護情報の配信サービスの活用」）